

ディスカバー 農山漁村の宝

農山漁村の宝

令和元年度
東海農政局管内
選定事例集

この事例集は、東海農政局管内において、農山漁村の活性化に取り組まれている優良な団体を紹介するものです。

ディスカバー 農山漁村の宝、豊かなむらづくり全国表彰事業
令和元年度 東海農政局 管内選定事例集

編集・発行 東海農政局 農村振興部 農村計画課
〒460-8516 名古屋市中区三の丸1-2-2
TEL：052-223-4629(直通) FAX：052-220-1681

「ディスカバー 農山漁村の宝」特設ホームページはこちら
<https://www.discovermuranotakara.com/>
東海農政局のWebサイトはこちら
ディスカバー 農山漁村の宝
<http://www.maff.go.jp/tokai/noson/keikaku/discover/index.html>
豊かなむらづくり全国表彰事業
<https://www.maff.go.jp/tokai/noson/keikaku/mura/index.html>



豊かなむらづくり農林水産大臣賞受賞
加子母むらづくり協議会



豊かなむらづくり東海農政局長賞受賞
農事組合法人 大野瀬温



豊かなむらづくり東海農政局長賞受賞
農事組合法人 飛雪の滝百姓塾

農林水産省
東海農政局

令和2年3月

ディスカバー農山漁村の宝

事例

「ディスカバー農山漁村の宝」は、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現のため、農山漁村の有するポテンシャルを引き出すことにより地域の活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国に発信するものであり、本年で6回目となります。

東海農政局管内で3地区及び2名が全国選定されました

「ディスカバー農山漁村の宝」(第6回選定)において、全国で31地区及び5名、うち東海農政局管内から次の3地区及び2名が農山漁村活性化の優良事例として選定されました。

東海農政局で6地区及び2名を選定しました

東海農政局では、管内で応募のあった94地区及び10名のうち、内閣官房及び農林水産省において選定(全国選定)された3地区及び2名のほかに、東海農政局の優良事例として次の6地区及び2名を選定しました。

「ディスカバー農山漁村の宝」交流会・マルシェを開催

令和元年12月3日に総理大臣官邸において、「ディスカバー農山漁村の宝」第6回選定の選定証授与式及び交流会が開催され、全国選定された31地区及び5名が参加、東海農政局管内からは3団体及び2名の方々が参加されました。

また翌日12月4日にはJ R有楽町駅前広場において、「ディスカバー農山漁村の宝」マルシェが開かれ、全国選定の中から22団体が参加し、東海農政局管内からは2団体が参加しました。マルシェでは、各地区で生産されている農林水産物やその加工品の販売により、「ディスカバー農山漁村の宝」と各地区のPRを行いました。



鞍掛山麓千枚田保存会



西尾南部ベイエリア協議会



ミナミ産業株式会社



大島 光利 氏



北川 静子 氏



マルシェ会場(JR有楽町駅前広場)



マルシェに参加(西尾南部ベイエリア協議会)



マルシェ(ミナミ産業株式会社)

東海農政局管内各県拠点から選定証を授与

岐阜県では2団体及び2名が選定され、令和元年12月16日に小池永司氏(下呂市)、12月17日に株式会社飛騨の森でクマは踊る(飛騨市)と有限会社萬里 飛騨えごま本舗(高山市)、12月18日に大島光利氏(恵那市)に東海農政局岐阜県拠点から、選定証の授与を行いました。



小池 永司 氏(下呂市)



株式会社飛騨の森でクマは踊る(飛騨市)



有限会社萬里 飛騨えごま本舗(高山市)



大島 光利 氏(恵那市)

愛知県では3団体が選定され、令和元年12月12日に鞍掛山麓千枚田保存会(新城市)、12月18日に株式会社デリーファーム(常滑市)、12月20日に西尾南部ベイエリア協議会(西尾市)に東海農政局愛知県拠点から、選定証の授与を行いました。



鞍掛山麓千枚田保存会(新城市)

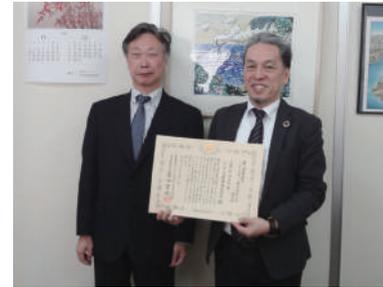


株式会社デリーファーム(常滑市)

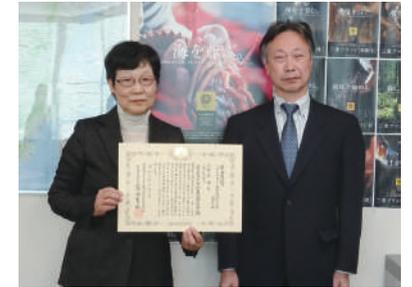


西尾萬部ベイエリア協議会(西尾市)

三重県では4団体及び2名が選定され、令和元年12月13日にミナミ産業株式会社(四日市市)と一般社団法人三重県障がい者就農促進協議会(津市)、12月17日に三重紀北町 海・山こだわり市(紀北町)と北川静子氏(多気町)と海女小屋はちまんかまど有限会社兵吉屋(鳥羽市)、12月19日に篠木優果氏(鈴鹿市)に東海農政局三重県拠点から、選定証の授与を行いました。



ミナミ産業株式会社(四日市市)



一般社団法人三重県障がい者就農促進協議会(津市)



三重 紀北町 海・山こだわり市(紀北町)



北川 静子 氏(多気町)



海女小屋はちまんかまど有限会社兵吉屋(鳥羽市)



篠木 優果(鈴鹿市)

【団体 コミュニティ部門】

鞍掛山麓千枚田保存会 (愛知県新城市)

～ くだびれたら おいでん 癒されるに ～



棚田の風景「四谷千枚田」



地元小学校の野外学習



収穫感謝祭の様子

▼ 該当カテゴリー ▼

環境保全・景観保全

企業との連携

教育機関との連携



問合せ先
〒441-1942
愛知県新城市四谷59
tel 090-6586-4665
fax 0536-35-0747
mail s-koyama@tees.jp

概要

- 自然豊かな景観と生物多様性に富んだ「四谷の千枚田」は、H22年に名古屋で開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)の誘致に貢献。
- 地域の教育機関と連携した農業体験学習や、企業と連携した社員研修・ボランティア活動を積極的に受け入れ。

成果

- 棚田の見学・訪問者は、1.5万人から2.5万人に増加(H26～H30)。
- COP10を機に、ベトナム、中国など海外から中山間地の米作りに関する農業視察が増加。

【団体 ビジネス部門】

西尾南部ベイエリア協議会 (愛知県西尾市)

～ それぞれの輝きから、大きな輝きへ ～



日本語版、英語版のパンフレット作成



高校生等の協力により新メニュー開発



地元大学生の協力により体験プログラム開発

▼ 該当カテゴリー ▼

農泊

農林漁業、農村文化体験

教育機関との連携



問合せ先
〒444-0424
愛知県西尾市一色町小藪船江東176
tel 0563-72-9607
fax 0563-72-3502
mail sakushima@city.nishio.lg.jp

概要

- 地域の大学と連携し、「うなぎの蒲焼き体験」などの体験プログラムを開発。また、地域の高校及び企業と連携し、うなぎを使用した新商品を開発。
- 日本語版と英語版のパンフレットやポスターの作成・配布、SNSで動画を配信するなど、国内外へ積極的にPRを実施。

成果

- 体験プログラムやレストラン等の売上高は約1.5億円(H30)、宿泊者数は9,000人(H30)。
- 地元高校やカフェ等の協力により、うなぎドーナツ、うなぎ春巻き等の特産品を開発。

【団体 ビジネス部門】

ミナミ産業株式会社(三重県四日市市)

～ 世界に日本の豆腐を広げるプロジェクト ～



海外採用事例(自家製豆腐作り)



海外展示会 NYセミナーの様子



にがり農法による大豆栽培風景

▼ 該当カテゴリー ▼

食育・教育

輸出

企業との連携



問合せ先
〒511-0025
三重県四日市市東新町3
tel 059-331-2158
fax 059-331-7324
mail info@minamisangyo.com

概要

- 農研機構などと連携し、高機能性大豆「ななほまれ」の研究を行い、高付加価値大豆の普及を図る。
- 大豆製品の海外販路開拓事業に取り組み、海外28ヶ国へ輸出。また海外で食育イベント等も実施。

成果

- 国産大豆製品の輸出額は、約3,600万円から5,100万円に増加(H26～H30)した他、大豆栽培面積は160ha(H30)まで拡大。
- 「おからの出ない大豆丸ごと豆腐技術」を開発し、当該技術を活用した新規開業支援に取り組み、65店舗の新規開業に貢献。

【個人部門】

大島 光利(岐阜県恵那市)

～ 皆でやろまいか!リフォーム塾と里山づくり ～



古民家リフォーム塾・第一号物件「田舎暮らし体験館結の炭家」
(本人:左下写真)



古民家リフォーム塾・床の張替え作業



里山づくり活動・施業技術講習会の様子

▼ 該当カテゴリー ▼

環境保全・景観保全

移住・定住



問合せ先
〒509-7831
岐阜県恵那市串原827
tel 0573-52-2217
fax 0573-52-2808
mail ohshima@iwakura.enat.jp

概要

- 過疎化に伴い増加する空き家を改修して、移住・定住を促進する古民家リフォームの取り組みに従事。
- 移住者や林業技術者などとともに、継続的な森林整備や担い手づくりを目的とした里山づくりにも従事。

成果

- H23年以降、28軒の空き家を改修し、70人の移住者を受け入れた(R1年7月現在)。
- 里山づくりには年間2～300人程度の参加者があり、H26年以降、57haの森林整備を実施。

【個人部門】

北川 静子(三重県多気郡多気町)

～ 小さな農村文化継承者 ～



地元の子もたちからのつきの買い取りは15年続く(本人:右上写真)



地域内外の児童が親子で学ぶ食育



見せ方、伝え方にもあえてひと手間ひと工夫

【団体部門】

有限会社萬里 飛驒えごま本舗(岐阜県高山市)

～ 飛驒えごまの全国ブランド化で地域活性! ～



主力製品の飛驒生搾りえごま油と飛驒えごま実



障がい者施設との連携



飛驒高山で唯一、HACCP導入認定の搾油所

▼ 該当カテゴリー ▼

農泊

農林漁業・農村文化体験

食育・教育



三重県
多気町

問合せ先
〒519-2211
三重県多気郡多気町丹生5643
tel 0598-49-4300
fax 0598-49-4300
mail mameya@ma.mctv.ne.jp

概要

- 高齢化や後継者不足の中、農村で生まれる産物・豊かな文化・お年寄りの持つ技術を活かそうと地元女性と共に有限会社を設立。
- 農家レストラン、加工所などで地元農産物を使用した料理や商品を生産するほか、大豆などを使った料理体験などを通じ、農村の文化や技術を伝承。

成果

- 農家レストランへの来場者数は年間9.5万人(H30)。農産物を納品する生産者は130人から165人に増加(H26～H30)。
- 地元の農産物買上額や、地元雇用の人件費等の地元への貢献金額は6,000万円(H30)であり、地域に貢献。

▼ 該当カテゴリー ▼

伝統の継承

農福連携

高齢者の活躍



岐阜県
高山市

問合せ先
〒506-0825
岐阜県高山市石浦町7-586
tel 0577-57-7801
fax 0577-57-7802
mail info@hidaegoma.jp

概要

- 飛驒の伝統食である飛驒えごまを全国ブランドとして展開し、完全受注生産により新鮮な搾りたてえごま油を提供。
- 飛驒全域の飛驒えごま栽培農家・面積の増加を目指す「飛驒えごまバレー構想」で地域活性化に取り組む。

成果

- 飛驒えごま商品の売上は、160万円から2000万円に増加(H27～H30)。リピーター購入率が高く、新規注文を制限するほどの人気。
- 取引するえごま栽培農家は、4軒から79軒に増加(H27～H30)、飛驒えごま取扱量も190kgから2,000kgに増加(H27～H30)。

【団体部門】

株式会社飛驒の森でクマは踊る(岐阜県飛騨市)

～ 小径広葉樹の新たな価値の創造へ～



チップになる小径広葉樹から作ったスツール



海外大学のものづくり合宿(インバウンド)



木工体験ワークショップ

▼ 該当カテゴリー ▼

農泊

農林漁業、農村文化体験

6次産業化



岐阜県
飛騨市

問合せ先
〒509-4235
岐阜県飛騨市古川町式之町6-17
tel 0577-57-7686
fax 0577-57-7687
mail info@hidakuma.com

概要

- チップとなって安価で飛騨市外に流出していた小径の広葉樹を使った家具、什器、内装材等の商品を開発・販売。
- これまで地域になかった森林・木材に関する体験ツアーを企画・実施。また、海外の建築家をを目指す学生等に学びの場を提供。

成果

- 木製品等の売上は430万円から約4,100万円(H27～H30)に増加。
- これまでに開催した体験プログラムの参加者は、延べ約3,000人、宿泊者は延べ約1,000人。海外からはこれまでに約15か国、延べ約300人が滞在。

【団体部門】

株式会社デイリーファーム(愛知県常滑市)

～ たまごの魅力で地域を圧倒的な観光地に!!～



たまごをたっぷり使用した手作り人気スイーツ



地元の学校での食育活動



ココテラスの試食を兼ねた消費者との交流会

▼ 該当カテゴリー ▼

農林漁村、農村文化体験

食育・教育

6次産業化



愛知県
常滑市

問合せ先
〒479-0806
愛知県常滑市大谷字芦狭間5
tel 0569-37-0072
fax 0569-37-0256
mail aichita@dailyfarm.co.jp

概要

- 養鶏場として大正より営業。H27年6月から洋菓子店(ココテラス)を開店し、たまごの直売と加工品を販売。
- さらなる卵の可能性を消費者に提供するため、H30年6月に国家戦略特区を活用して、農家レストラン「レシビヲ」をオープン。

成果

- 洋菓子店「ココテラス」の売上は約1億2,400万円(H30)、農家レストラン「レシビヲ」はオープン4か月で約2,200万円を売上。
- 来客数は年間約13万人(H30)で、遠方からのファンも多く、知多半島の観光誘客に貢献。

【団体部門】

一般社団法人三重県障がい者就農促進協議会(三重県津市)

～ みんなで一緒に地域を元気に! ～



農業ジョブトレーナー養成講座の農業実習



農福連携マルシェを開催



農業ジョブトレーナーによるサポートの様子

▼ 該当カテゴリー ▼

農福連携



問合せ先
〒514-0003
三重県津市桜橋2丁目142
教育文化会館1階
tel 059-253-4187
fax 059-253-3359
mail mieshuno@dune.ocn.ne.jp

概要

- 農業分野における障がい者の就農への支援、情報発信、ネットワークづくりを推進。
- 農家や農業経営体と障がい者との中間支援をする農業ジョブトレーナーの育成・活用、農福連携の拡大に取り組む。

成果

- ジョブコーチの農業版である「農業ジョブトレーナー」を延べ170人育成。
- 農業分野における障がい者の就労体験のコーディネートを延べ19件実施。

【団体部門】

海女小屋はちまんかまど 有限会社兵吉屋(三重県鳥羽市)

～ 海女文化を世界に 漁業と観光で地域創生を ～



ロシア観光客の海女着体験



海女小屋体験で味わえる伊勢志摩の魚介



伊勢志摩サミットプレスツアー

▼ 該当カテゴリー ▼

農林漁業、農村文化体験

伝統の継承

その他(観光振興・インバウンド・エコツーリズム・若手の育成)



問合せ先
〒517-0032
三重県鳥羽市相差町1094
tel 0599-33-6145
fax 0599-33-7407
mail info@amakoya.com

概要

- H16年に、日本で初めて実際に使用している海女小屋を開放し、現役海女が米国のお客様をもてなしたことをきっかけに、海女小屋体験サービスを開始。
- 発展途上国の若手経営者や公務員の事業研修プログラムの受け入れを行い、次世代の担い手育成に協力。また外国人観光客のために、フリーwi-fi・キャッシュレス化や礼拝堂等を設置。

成果

- 海女小屋総受入人数は約2万3,000人(H30)で、うち外国人観光客が約9,300人。
- 海女小屋体験が、海女の生きがい、海女の収入増加、雇用の創出、新たな観光地の誕生等、海女文化と食文化の継承にも貢献。

【団体部門】

三重 紀北町 海・山こだわり市 (三重県北牟婁郡紀北町)

～ 魅力・ときめき発信 地域みんなを元気に ～



海・山こだわり市の様子



世界初の「ほうずきワイン」を開発



東紀州地域を巻き込んでの広域食イベントへ成長

▼ 該当カテゴリー ▼

農林漁業、農村文化体験

6次産業化

企業との連携



三重県
紀北町

問合せ先
〒519-3406
三重県北牟婁郡紀北町相賀2094-5
tel 090-4861-6737
fax 0597-31-4126
mail Mjhnrgt8@zb.ztv.ne.jp

概要

- 6次産業化や紀北町ブランド構築に向け、農林漁業者が一丸となる「海・山こだわり市」を開催。
- 第一次産業の就業者を増やすための体験ツアーを実施・運営。

成果

- 「海・山こだわり市」の来場者数は3,300人(H30)で、ここから端を発した、気楽に食べ歩きのできる「食べ歩き棒」対決は広域食イベントに成長、商品化にも至る。
- 第一次産業就業体験ツアーの参加者は延べ44人で、1ターナー者2名(女性)の就業(移住)に成功。

【団体部門】

小池 永司 (岐阜県下呂市)

～ 日本一美味しい村づくり・美しい村づくり ～



非公開であった鮎火ぶり漁を公開し観光化(本人:右上写真)



里山ミュージアム 子どもたちに地域の水文化の解説



地域おこし協力隊の外国人観光客対象バイクツアー

▼ 該当カテゴリー ▼

農泊

農林漁業、農村文化体験

環境保全・景観保全



岐阜県
下呂市

問合せ先
〒509-2614
岐阜県下呂市馬瀬惣島927
tel 0576-47-2515
fax 0576-47-2515
mail koikeej@ccn.aitai.ne.jp

概要

- 溪流魚の生息環境や美しい農村景観を保全するため、馬瀬川沿いの森林を、全国初となる「溪流魚付き保全林」指定や、NPO「日本で最も美しい村」連合への加盟に尽力。
- 地域の食や景観などの新たな魅力を発掘し、集落の野外を活用した博物館(里山ミュージアム)の開設や、鮎火ぶり漁の観光化、農業及び自然体験ツアーの開発、インバウンド客の誘致等に取り組む。

成果

- 新たに3,000名程度の観光客が増加し、移住者による民泊が3軒開業。
- 住民が里山ミュージアムでは「よらまいか隊」、火ぶり漁では「あゆ採り隊」などを結成し、地区が活性化。

【個人部門】

篠木 優果(三重県鈴鹿市)

～ 農業で元気を取り戻し、障害者手帳を返上! ～



「こっち菜デリ」の外観(本人・右上写真)



農場・わか菜の杜 外観



農場で育てた野菜をサラダにして盛り付け

▼ 該当カテゴリー ▼

雇用

6次産業化

農福連携



三重県
鈴鹿市

問合せ先
〒510-0224
三重県鈴鹿市若松中1-20-1
tel 059-385-7878
fax 059-385-2829
mail foryou00@ceres.ocn.ne.jp

概要

- 障害者手帳を持ちつつも労働意欲があり、H24年11月に社会福祉法人朋友へ就労、農業部門「わか菜の杜」で水耕栽培を担当。毎日農業をする中で、作物の成長を喜びと感じ、心も体も元気に。
- H26年、三重県のカフェ事業で設置した「こっち菜」のオープンスタッフに抜擢、H28年には弁当、野菜販売等を行う「こっち菜デリ」の店長に就任。

成果

- 農場で野菜に触れることで安定した生活が送れるようになり、「こっち菜デリ」のオープンとともに店長として活躍し、障害者手帳を返上。
- 「こっち菜デリ」の売上は約2,100万円(H30)。

第6回ディスカバー農山漁村の宝 東海農政局管内応募団体一覧

【岐阜県】

No.	市町村名	団体等名
1	大垣市	牧田まちづくり協議会
2	大垣市	時まちづくり活動推進実行委員会
3	高山市	山崎 昌彦(活エネルギーアカデミー)
4	高山市	特定非営利活動法人活エネルギーアカデミー
5	高山市	おっばら・水・ドンボの里
6	高山市	有限会社萬里 飛騨えごま本舗 東海農政局選定
7	高山市	協谷技研株式会社 飛騨狩人工房事業部
8	高山市	一般社団法人ふるさと体験飛騨高山
9	多治見市	有限会社甘原ええのお
10	多治見市	多治見三郷活性協議会
11	関市	曾代用土地改良区
12	中津川市	ちこり村(株式会社 サラダコスモ)
13	中津川市	加子母森林組合
14	中津川市	かしも木匠塾実行委員会
15	中津川市	加子母教育協議会
16	中津川市	加子母花づくり会議
17	中津川市	加子母風起こし実行委員会
18	中津川市	どあい自然学校
19	瑞浪市	NPO法人ボランの広場
20	恵那市	大島 光利(奥矢作森林塾) 全国選定
21	恵那市	株式会社 えな笠置山栗園
22	恵那市	恵那市坂折棚田保存会
23	土岐市	社会福祉法人 陶都会
24	飛騨市	株式会社 飛騨の森でクマは踊る 東海農政局選定
25	飛騨市	古川町気多の水と土を守る会
26	郡上市	郡上民泊推進協議会
27	下呂市	一般社団法人 E-ne金山
28	下呂市	朝取横丁運営協議会
29	下呂市	小池 永司(馬瀬地方自然公園づくり委員会) 東海農政局選定
30	下呂市	飛騨小坂あぶらえ生産組合
31	笠松町	羽島用土地改良区
32	養老町	笠郷地区環境保全対策協議会
33	輪之内町	徳川將軍家御膳米生産組合
34	揖斐川町	北方第2工区集落協定
35	七宗町	奥田ふるさと保全の会
36	白川町	特定非営利活動法人ゆうきハートネット
37	東白川村	有限会社新世紀工房
38	東白川村	東白川村森林組合

第6回ディスカバー農山漁村の宝 東海農政局管内応募団体一覧

【岐阜県】

No.	市町村名	団体等名
39	豊橋市	福井 直子 (有限会社みずほ農産)
40	半田市	有脇の農地・水・緑を守る会
41	豊川市	愛知県食品輸出研究会
42	豊田市	農事組合法人 大野瀬温
43	安城市	榎前環境保全会
44	安城市	愛知県立安城農林高等学校エグプロ研修班
45	西尾市	西尾南部ベイエリア協議会 全国選定
46	犬山市	入鹿用土地利用改良区
47	常滑市	株式会社ブルーチップファーム
48	常滑市	株式会社デイリーファーム 東海農政局選定
49	稲沢市	宮田用土地利用改良区
50	新城市	牟呂用土地利用改良区
51	新城市	鞍掛山麓千枚田保存会 全国選定
52	新城市	公益財団法人 農林業公社しんしろ
53	大府市	JAあいち知多青年部大府地域
54	大府市	木の山マルシェ実行委員会
55	大府市	愛知用土地利用改良区
56	知立市	知立市都市農業共生推進協議会
57	田原市	ベジエール渥美
58	弥富市	鍋田土地利用改良区
59	美浜町	音吉を愛する走る仲間の会
60	設楽町	竹内 通王 (たけうち牧場)
61	設楽町	株式会社たけうち牧場
62	設楽町	奥三河つぐ高原グリーンツーリズム推進協議会
63	豊根村	愛知県北設楽郡豊根村

第6回ディスカバー農山漁村の宝 東海農政局管内応募団体一覧

【三重県】

No.	市町村名	団体等名
64	津市	白山町土地改良区
65	津市	榊原みずすまし会
66	津市	足坂集落
67	津市	一般社団法人三重県障がい者就農促進協議会 東海農政局選定
68	四日市市	ミナミ産業株式会社 全国選定
69	伊勢市	東大淀を守る会
70	松阪市	バイオマスパワーテクノロジーズ株式会社
71	松阪市	社会福祉法人まつさか福祉会 八重田ファーム
72	松阪市	有限会社 長井米生活農場
73	桑名市	桑名もち小麦協議会
74	鈴鹿市	吉川 文 (すいーとぼたけ)
75	鈴鹿市	株式会社 鈴鹿山麓夢工房
76	鈴鹿市	篠木 優果 (アクティブ鈴鹿) 東海農政局選定
77	名張市	イーナバリ株式会社
78	尾鷲市	三木里野菜塾
79	亀山市	どんこネット川合
80	鳥羽市	海女小屋はちまんかまど 有限会社兵吉屋 東海農政局選定
81	熊野市	飛鳥たかな生産組合
82	志摩市	里海泊事業推進協議会
83	伊賀市	株式会社ファームアンドガーデンIGA
84	伊賀市	ひじきファーム
85	伊賀市	一般社団法人 大山田農林業公社
86	伊賀市	種生地区活性化計画推進委員会
87	伊賀市	ふるさとづくり上高尾の会
88	伊賀市	あぐりぴあ伊賀
89	東員町	株式会社シグマサポート
90	菰野町	音羽野菜生産組合
91	多気町	一般社団法人 ふるさと屋
92	多気町	北川 静子 (有限会社せいわの里) 全国選定
93	明和町	一般社団法人 神都の祈り
94	明和町	株式会社小林農産
95	大台町	J A多気郡奥伊勢えごま倶楽部
96	大台町	吉田 みやこ (奥伊勢えごま倶楽部)
97	大台町	宮川森林組合
98	玉城町	勝田大地の絆会
99	度会町	特産品販売所 いらっ茶いわたらい
100	大紀町	大紀町地域活性化協議会
101	南伊勢町	橋本 純 (まるきんまる)
102	紀北町	三重紀北町海・山こだわり市 東海農政局選定
103	御浜町	尾呂志地区活性化プラン推進委員会
104	紀宝町	農事組合法人 飛雪の滝百姓塾

豊かなむらづくり全国表彰事業

趣旨

「豊かなむらづくり全国表彰事業」は、農林水産祭の表彰行事の一環として、農山漁村における「むらづくり」のモデルとなる優良事例を表彰し、その取組を広く紹介することで、「むらづくり」の全国的な展開につなげていくことを目的として昭和54年から行われており、本年で41回目となります。

令和元年度豊かなむらづくり表彰式で3団体が表彰されました

令和元年11月11日(月曜日)、名古屋能楽堂(名古屋市中区)において、令和元年度豊かなむらづくり表彰式を開催し、東海農政局の富田局長から3団体に賞状が授与されました。

受賞者	団体名	県名	市町村名
農林水産大臣賞	加子母むらづくり協議会	岐阜県	中津川市
東海農政局長賞	農事組合法人大野瀬温	愛知県	豊田市
東海農政局長賞	農事組合法人飛雪の滝百姓塾	三重県	南牟婁郡紀宝町



富田局長(左)から農林水産大臣賞を受ける「加子母むらづくり協議会」中島会長(中央)と中島副会長



受賞3団体の集合写真

豊かなむらづくり表彰式の模様



東海農政局 富田局長あいさつ



島村地方参事官による受賞団体取組紹介

表彰式には、受賞団体の代表者(加子母むらづくり協議会 中島会長、大野瀬温 大石代表理事、飛雪の滝百姓塾 木下代表理事)、東海農政局むらづくり審査会審査委員(会長 大野三重大学教養教育院教授)、県・市町担当者、東海農政局幹部が出席しました。

当日は、受賞団体の取組紹介、選賞審査報告、表彰状授与の後、受賞団体の代表者から謝辞が述べられました。



むらづくり審査会 大野会長の選賞審査報告



表彰状授与「大野瀬温」大石代表理事



表彰状授与「飛雪の滝百姓塾」木下代表理事



「加子母むらづくり協議会」中島会長 謝辞

加子母むらづくり協議会(岐阜県中津川市)

～ 若者が回帰するむらづくり ～



加子母地域全景



「加子母むらづくり協議会」関係者 表彰式集合写真

背景

市町村合併を機に自主的な地域運営に取り組むため、平成24年に組織化。平成27年には、協議会内に経済活動の発展を目的とした「NPO法人かしもむら」を設立。

取組内容

- 農業研修施設を整備し研修生を受け入れ、この10年で6人の新規就農者を確保。
- 大学生が木造建築実習を行いながら地域住民と交流を図る「かしも木匠塾」を毎年開催し、地域の活性化と林業関連の就業を促進。
- 複数の大学と連携し地域の課題に取り組む「域学連携事業」で、年間を通して延べ4,000人の大学生が滞在、地域住民との交流や各種活動を実施。
- 「空き家対策検討委員会」で、定住促進のための移住可能な物件データを作成。平成28年の委員会設立後、3世帯6人のIターンと2世帯6人のUターン移住者を確保。

今後の展開

今後は農林泊の取組で受け入れ態勢を整備するとともに、2027年のリニア中央新幹線の開通を見据えた、地域に人を呼び込む仕組み作りを推進し、また地域の伝統や特色を生かした「人づくり」、「地域づくり」で、30年、50年先を見据えたむらづくりを目指す。

【写真で見る団体の取組】



6～12月の第3日曜日に開かれる軽トラ市は高齢者の生きがいづくりにもなっている



トマト研修農場「かしも健康とトマト村」で研修生を受け入れ、就農支援も行う



小学生がトマト栽培を学ぶ「トマト大作戦」
トマト生産組合の指導で定植作業



大学生が木工技術を学ぶ「かしも木匠塾」の閉校式
25年の歴史があり8大学約300人が参加



地域と大学の連携活動「域学連携事業」
活動報告会での集合写真



「NPO法人かしもむら」が市から管理受託する
県重要有形文化財の「かしも明治座」

農事組合法人 大野瀬温 (愛知県豊田市)

～ 楽しく続ける、温もりのむらづくり ～



軽トラの行けない農団地(ここも保安全管理している)



「大野瀬温」関係者 表彰式集合写真

背景

地域内の耕作放棄地の発生防止や農地の維持・管理、農業経営コスト削減を目的に、平成24年に設立。平成28年に法人化。

取組内容

- 6次産業化の取組として、道の駅や酒造メーカーと協定を結び、サツマイモと発酵用の米を栽培し芋焼酎「大野瀬温」を商品化、道の駅を中心に販売。
- 農業資材の共同購入・保管による経費節減、構成員所有機械の共同利用、高性能大型農業機械の導入などにより、作業効率の向上と計画的な機械作業を実施。
- 地域内の農地保全のため、水稻・イモ類の作付けや構成員の保安全管理により耕作放棄地の解消、耕作放棄地の発生防止や景観作物の植付けを実施。
- 大学のゼミ活動を受け入れ農村生活体験を実施、また学生と協力しサツマイモクッキー「おのおのせむすめ」を開発。

今後の展開

今後は大野瀬地区全世帯の組織加入を目指すとともに、市と連携した新規就農者の研修受け入れや新たな農産物加工所と農家レストランの経営、農村生活体験の受け入れ拡大などにより、後継者育成や地域外からの定住促進を目指す。

【写真で見る団体の取組】



「道の駅どんぐりの里いなぶ」等で販売されている黄金千貫を使用した芋焼酎「大野瀬温」



トマト研修農場「かしも健康とまと村」で研修生を受け入れ、就農支援も行う



耕作放棄地を解消し作物を作付けできる農地へ



耕作放棄地を解消した田(左写真の農地)で大学生が米作り体験



金城学院大学のゼミ活動を受け入れサツマイモ栽培の農村生活体験を行う学生たち



小水電力発電機で充電したEV軽トラで野菜を運搬環境負荷軽減にも取り組む

農事組合法人 飛雪の滝百姓塾(三重県南牟婁郡紀宝町)

～ 被災を乗り越えた地区の力でむらづくり ～



「にほんの里100選」にも選ばれた
紀宝町浅里地区全景



飛雪の滝百姓塾関係者 表彰式集合写真

背景

地域を活発にしたいと思う者たちが集い、平成17年に「飛雪の滝百姓塾」を設立。平成23年9月の紀伊半島大水害により、当地区は甚大な被害を受けたが、被災直後からボランティアを始めとした、多くの方々の支援を受け復旧・復興に尽力。平成26年に法人化。

取組内容

- 平成26年に交付金を活用して集落を取り囲む恒久柵を設置、その維持管理を継続し、獣害が大幅に低減。
- 水稻の新品種「三重23号」を導入し、品質の向上とブランド化を達成、またそれを用いた郷土料理を販売することで、地区の活性化及び食文化をPR。
- 廃校施設を活用し、病院職員や大学生と連携して、災害時の医療対応や自然・里山保全を学ぶ「おもしろ大学」を開校、またSNSで活動内容を発信するなど、若者と関わる機会を拡大。
- 災害ボランティアを契機に、名古屋市の企業と農村活性化の協定書を締結、企業のCSR活動として各種ボランティア活動を実施し、都市と農村との交流活動を推進。

今後の展開

被災という逆境から復興した地域の団結力の強さで、各種活動に対し前向きな姿勢を維持していくとともに、豊富な地域資源を活用した自然体験を促進し、誘客による地域経済の活性化、都市農村交流の拡大などにより、移住・定住や地域活性化の向上を目指す。

【写真で見る団体の取組】



平成23年9月紀伊半島大水害(台風12号)
被災直後の様子



平成23年9月紀伊半島大水害(台風12号)
復旧後の様子



「農村活性化の取組に関する協定書」
岡谷鋼機株式会社との調印式



廃校を利用した「おもしろ大学」の開校式
地区外の若者と地区住民の交流の場となっている



CSR活動で侵入防止柵のつる除去をする
岡谷鋼機株式会社社員



観光客でにぎわう飛雪の滝キャンプ場